

向陽中だより



本校生徒会キャラクター「ひま SUN」

第 10 号

令和 5 年 2 月 28 日
杉並区立向陽中学校

<教育目標> ◎ よく考える人 ○ 思いやりのある人 ○ たくましい人
同じ釜の飯を食う

校長 斎藤 耕一郎

向陽中の宿泊行事は、5月に1年生がフレンドシップ、9月に3年生が修学旅行、そして、2月には、2年生がスキー移動教室に行ってきました。感染症対策をしっかりとしながら、3つの学年ともに延期や中止もなく、また途中で調子が悪くなって帰宅する生徒もなく実施することができました。これまでの3年間の感染症による行動制限の状況を思い返すと、同じ学年の仲間と苦楽を共にし、宿泊行事を実施できたことは、これから君たちの成長につながっていると思っています。

特に宿泊するということは、24時間一緒に寝泊りをすることになります。普段見られない友達の良いところや意外な部分を見つけることができます。2年生のスキー教室の宿舎での生活でも、食事係の生徒がしゃもじでごはんをよそう様子を見ていて、家でやったことがないんだろうなとか、逆にご飯と汁物の茶碗の左右の位置を直していた、よく気が付いた生徒もいました。

言葉によって相手と通じ合うだけでは、まだまだ表面的な付き合いです。もっと理解し合うためには、体験を共有できると友達を理解できるようになります。同じ時間、同じ空間、同じ目的で一緒に行動していると、互いが互いを理解しようとして、それが相乗効果となり一つの目的を達成させようと力を合わせるようになります。宿泊行事では、すごく近距離で生活をしています。そこで仲間と一緒に感じた「匂い」や「味」、また「触ったもの」は、体験していない他の人と共有できないものです。普段の生活では共有しにくいから、貴重な体験で苦しいことや楽しいことを共有できたときの思い出は、ずっと記憶に残っていて、後になってから「懐かしかったね」となるのです。

○同じ釜の飯を食う

学校に通っていて、クラスの中でも部活動や委員会などをしていても、人は一人ではなく集団で行動する生き物です。お互い会話がなくても考えていることがわかるような関係や、お互いを気にし合えるっていいですよね。

宿泊行事での体験から理解し合える仲間と気持ちを伝え合わせることで、課題や行事を一緒に解決することができます。言葉がなくとも同じイメージをもっている仲間がいると思うと、一緒にがんばろうと思い、勇気も出てくるのです。

宿泊行事のときに、解決のために発揮できた力、反対にうまくいかなった課題を共有している記憶を、信頼できる仲間同士の中で改善への実行力に変えてください。共通した記憶をもった仲間がたくさんいると思うから集団に自信や勇気が出てくるのです。

特に2年生、このスキー移動教室を機会にして向陽中の顔としてスタートできるよう、共通の記憶・思い出をもった個々の力を結集させ、自分たちで連帯感を創り出してください。そして、学年の絆を強くして、最上級生となり向陽中を盛り上げてください。



<令和4年度 杉並区教育調査の結果のお知らせ>

本校の教育目標及び今年度学校経営計画の達成状況を把握するため、杉並区教育調査を生徒・保護者を対象として1月に実施しました。御協力いただきありがとうございました。回答結果を基に肯定率をまとめ、考察しましたので報告します。いただいた回答結果を次年度の教育計画に生かし、今後も学校・保護者・地域がより連携・協力しながら進んでまいります。

※「とてもそう思う」「ややそう思う」の割合を肯定率で表しています。（ ）内は、令和3年度の数値です。

○生徒集計結果	肯定率		
	1年生	2年生	3年生
1 先生は、クラスのみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	68.4% (83.3%)	57.1% (82.8%)	90.9% (86.8%)
2 授業では、学習を進める方法やペースを、自分で決めながら学んでいる。	40.8% (64.4%)	32.9% (59.8%)	64.8% (62.6%)
3 授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	26.5% (34.4%)	28.6% (57.5%)	61.4% (45.1%)
4 授業では、自分の興味に基づいて課題を立てて学んでいる。	40.8% (48.9%)	22.9% (51.7%)	53.4% (54.9%)
5 授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる。	63.3% (75.6%)	60.0% (80.5%)	85.2% (84.6%)
6 学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	69.4% (78.9%)	60.0% (87.4%)	86.4% (85.7%)
7 先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	57.1% (64.4%)	48.6% (79.3%)	85.2% (65.9%)
8 先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	83.7% (88.9%)	87.1% (97.7%)	97.7% (91.2%)
9 先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	61.2% (60.0%)	45.7% (81.6%)	76.1% (74.7%)
10 道徳の時間では、友達や家族、地域の人たちと共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	67.3% (71.1%)	57.1% (71.3%)	81.8% (80.2%)
11 先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	60.2% (58.9%)	45.7% (77.0%)	73.9% (60.4%)
12 【新】学校や家などで、1ヶ月本、新聞、雑誌、調べ物をするための資料などを読んだ。	73.5%	74.3%	70.5%
13 地域の行事に参加している。	22.4% (26.7%)	12.9% (34.5%)	25.0% (30.8%)
14 先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。	41.8% (44.4%)	32.9% (67.8%)	67.0% (51.6%)

○保護者集計結果	肯定率
1 子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。	69.7% (77.4%)
2 連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	33.8% (46.7%)
3 学校は、自校の教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。	52.8% (65.1%)
4 学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。	68.3% (81.6%)
5 子どもは、学校で学ぶことにより、必要な時に、必要なことを、自ら学んで身に付けることができる力が育っている。	55.6% (65.1%)
6 学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	50.7% (62.7%)
7 学校は、ICT 機器（電子黒板やデジタル教科書等）を活用した授業を行っている。	62.7% (69.8%)
8 子どもは、学校での生活を通して、他者と共によりよく生きるための力が育まれている。	68.3% (79.7%)
9 子どもは、学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	69.7% (80.2%)
10 子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決をきめ細やかに支援してくれている。	38.7% (46.2%)
11 学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。	33.8% (42.0%)
12 子どもは、特別支援学校や特別支援学級の子どもと交流したり、一緒に活動したりする機会がある。	21.1% (22.2%)
13 学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	51.4% (64.2%)
【結果より来年度に向けて】	
○学習指導では、「協働的な学び」、「教材教具（ＩＣＴ等）」については保障されていますが、「個別最適な学び」や「探求の学び」についてはまだ対応していかなくてはなりません。来年度に向けては、水曜補習授業や授業サポートにおけるボランティア等地域人材の活用を拡大したり、café 勉や木曜café 勉などの地域活動との連携を強めたりして、個に応じた学習形態を確立していきます。その上で、教員だけでなく地域の方々とも一緒になって交流の場を創っていきます。	
○「小中一貫教育・異校種間の連携」では、コロナ禍の影響もあって交流活動に制限がありました。今後は、高三小・永福小との兄弟校連携や中央ろう学校などの連携交流の機会を充実させていきます。	
○「地域行事」では、感染症対策に留意しながら町ぐるみ運動会や向陽子どもまつりをはじめ地域の諸行事への参加を促し、地域貢献となる活動を増やし、地域への意識と生徒の自己有用感を高められるようにしていきます。保護者の方々もお子様が地域行事に参加するよう声掛けをお願いいたします。	

2年生 スキー移動教室

2年生が長野県上田市菅平高原にて2泊3日で移動教室を行いました。出発の前の週には、-27°Cの全国最低気温を記録した菅平、パウダースノーの絶好のコンディションになりました。行程の3日間共に天候に恵まれ、青空と白銀の中でスキーを楽しんできました。11の班に分かれ、初日の午後から最終日の午前まで、インストラクターの充実した指導を受けることができました。ほとんどの生徒が初めてスキー靴を履くという状況でしたが、その上達ぶりには目を見張るものがありました。事前準備では実行委員を中心となり、一から考えてきました。スローガンは『S（さいこうの）K（経験を）I（一緒に）！！』、運動会や横須賀での校外学習での経験を活かし、自分たちでしっかりと3日間の移動教室を充実したものにすることができました。また、宿舎での生活、レクレーションなどを通じて、学年の絆をより一層深めることができたことが何よりの収穫でした。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。



3年生 薬物乱用防止セーフティー教室

3年生が2月18日（土）の土曜授業にて、日本薬物対策協会の樋田 真由美 氏・防犯読売協会の方々をお招きして、薬物乱用防止教室を行いました。講演では、ご自身やご家族の体験を踏まえて、「薬物の恐ろしさ」、「断る勇気」や「命の大切さ」について親身にお話し頂きました。第2部では、保護者・地域の方々との懇談を行いました。



生徒の活躍

【第72回東京都公立学校美術展覧会】 2月14日～19日 東京都美術館（上野公園）

美術：絵画「コルクシート自画像」
3年生 2名

技術：木工「本立て」 1年生 1名

家庭：裁縫「ファイルカバー」 1年生 4名

【すぎなみ朝ベジごはんメニュー・コンテスト2022】 銅賞 2年 1名

今後の予定 [3月]

- 1日(水) 都立一次・分割前期入試発表・手続き
3年 3時間授業 給食なし
- 4日(土) 土曜授業 1・2年「伝統文化体験」
3年「福祉体験」
- 6日(月) 全校朝礼・安全指導
2年 上級学校説明会【正装】
- 7日(火) 3Aブックトーク
2年 上級学校説明会【正装】(オンライン)
- 8日(水) 3Bブックトーク
第2回保護者会 3年特別時間割 始
1・2年③カット 4時間授業
- 9日(木) 3Cブックトーク ⑥一斉委員会
- 10日(金) 避難訓練

O 13日(月) 生徒会朝礼

3年校外学習（お台場ビッグトップ）
「シルク・ドゥ・ソレイユ」東京公演鑑賞
弁当持参

O 14日(火) 3年タブレットPC返却

O 15日(水) 3年③④卒業式予行・給食終

O 16日(木) ⑤⑥カット・卒業式準備

O 17日(金) 第74回 卒業式 (希望する1・2年は歓送に参加)

O 21日(火) 小笠原自然体験交流始～26日(日)

O 23日(木) 第Ⅲ期時間割終、第3学期給食終 ⑥校内美化活動

O 24日(金) 修了式【正装】

O 25日(土) 春季休業日 始